2012チャレンジザバンクin大田

1. 申請	事業者				登理番号				
法人格	その他公共的な法人 設立 昭和42年10月1日 法八格取得 昭和42年10月1日		所属部署 (役職名)	事務局	jĘ				
	つ0 カ+ シマネケンジテンシャキョウギレンメイ			プ: カナ ヨシノカツオ					
名 称	島根県自転車競技連盟	事	氏 名	吉野	勝雄				
	7690-0033	務担	1870 A.F	代表	090-2809-6725				
() ===	島根県松江市大庭町 242-2	当者	電話	担当者	090-2809-6725				
住所	吉野勝雄方	The second secon	FAX	代表	0852-23-2194				
				担当者	0852-23-2194				
代表者	プト プナ カイチョウ ナンバシュンイチ		E-mail	代表	katuoy55@ybb.ne.jp				
氏名 (役職名)	会長 南場 俊一	ztsv		担当者	katuoy55@ybb.ne.jp				
(区地石)		1	ージ http:	//shimane-c					
団体の 使命・目的	本連盟は島根県における自転車競技を総括代表し自転	甲-紀1	文の)健注/よる)背及宠族含	1個のことを目的とする。				
	① 自転車競技大会の実施。		過去のJKA補助実績						
	② 自転車競技の競技力向上と指導者育成活動 ③ 自転車競技大会への選手派遣、選手の登録	制度	管理。	有	「から」平成22年から				
	④ その他本連盟の目的に適合する一切の事業	€.,			過去5年間のJKA補助実績				
これまで <i>の主な</i> 活動内容			平成22年 260千円 平成23年 240千円						
事業の 実施責任 者の主な経 歴・業績 (研究補助 は別記入)	① 自転車競技大会の誘致および開催。② 自転車競技の競技力向上活動。③ 自転車競技の持導者育成活動。④ 自転車競技選手の登録制度管理。⑤ 国民体育大会事業。⑥ 中国大会事業。⑦ 自転車競技の普及活動。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
特記事項									
JKA使用欄									

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(2/5)

2.	申請事	業												ŢĴ	香香	1 1	事業	4	
											事業		F イベント開催 07						
補助	事業名	都道用		転車競技:	運盟幼児対象	集事業					形態	[ţ	競技会]	
-											公益	注目的	的事業	情報「	1	『業区分のチェッ	タボイン	-K(1	
事業	事業項目名 2012チャレンジザバングin大田									種類		事業区分		[沿ってい	る]		
型解壁等									当該事業に関し、他の団体に対する補助申請 又は補助申請予定の有無										
種別	**************************************		ं± तात	亡月	复数年度 要望		3	年目	/	10 年計画			団体名称						
作組力リ	(5))継編	元安		継続要望	1			無無無	有	Æ	易根県体	有協会						
事	業費総額				525,80	00 P]	*	業コー	-8"	T								
L													_						
	補助金 付申請額		350,500			00 P	7	補助対象 経費総額			525,800				円	補助率	2	2/3	
委託	事業の有	無力	#			0 P	季	€ 0.0	00 %	委託調査0	つ有無	無				0 円	委託 比率	0.00 %	
委	託想定先	l						2						3					
	輔助金を Eとする理E	扭	獲得する	も苦労して	こおり参加料	による	自主規	才源の	みの	運営を計画	すれば	参加	数も湯	せ ることか	· 子想。	ような背景でけ される。自転車 いば開催の計[競技	を開催	

3. 補助事業実施の必要性(意義)

作成日	平成24年4月1	lΒ	作成者	吉野勝雄

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及び受益者(ニーズ)との関係で整理してください。 補助事業の結果(アウトブット)・成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況「目指す姿」の実現[(1)の補助事業が最終的に目指すこと]を図ります。

(1)補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください。

1	補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)
社会的課題 の現状	島根県において、自転車競技人口が増えていない現状と、中学校及び高校生の競技者が少ない。自転車への社会的な理解度を含めた保護者の理解も少なく自転車競技登録者が増えないのが現状である。
目指す姿	幼少時期から子供に自転車競技の面白さを伝え、また、その保護者への自転車への関心を持たせて理解を得ながら、自転車競技登録者を増やして継続した循環型社会を形成する。

(2)補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アワトブット)、成果(アウトカム)の直接的な効果により達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的

地域における幼少時期から保護者まで巨転車競技の面白さを伝え、自転車競技への理解を促進させる。幼少期からの自転車競技へ取り組むことでトップ選手を発掘し養成する。

1

		、一般。本地域には競技人口が少ないこともあってか、子供たちが思いっきり自転車で遊ぶというきっかけが無 f、スポーツの中の自転車競技と、て地域活性の原動力となりうるニーズがある。					
的児から一般の初心者を自転率競技の体験ができる大会を開催する。 を場け大田自転車競技場で、バンク内と管理棟施設を使用する。 と教育委員会や島根原体育協会の支援や、島根県トライアスロン協会と共催することで連携して開催する。 012年7月1日と2012年10月7日の2回開催し、スタッフ及び参加者で100人程度を予定する。 後技種目はそれぞれローカレル・ルで、キッズケイリン・デュレン・チュレンジトライアルの3種目を楽しめる。 ライアルフはBMXプレースタイルの選手を講師として招聘しデモンストレーションを実施する。 月より、委員会を1回。月程度開催し実施計画の詳細安全性の確保、参加者募集などについて検討及び準備を実施する。 20世紀にあたっては、運転マニュアルを作成する。 20世紀のの呼びかけは、チラシ1000部を作成して島根県自転車競技連盟登録者と当連盟会員、地元周辺市町村、地元小学校に配布する。ホージを作成して大会開催要項、参加者募集を掲載する。							
ライア ↓ やBMX フリー・2	タイルグ デモンストレーシ	ションは、ぴっくりする演技を披露していただき参加者で興味を持っていただく。					
数を重ねる毎に参加者し	文は増えると考えている。	トライアスロン協会等の他団体と共催することで、他団体の種目と交流し、適性のある選手の発掘を期待でき					
審業の完す時期 「 平成24年10月7日] 【予算】別紙:収支予算書のとおり【スケジュール】別紙:スケジュール表のと 2012年7月1日 太田自転車競技場 2012年10月7日 太田自転車競技場							
島根県自転車競技連盟、で主管する。島根県トライアスロン協会と共催することでスタッフは20名程度を確保して実施する。 続括責任者: 当団体会長、名、 連営責任者: 当連盟事務司長1名、 委員: 当連盟強化担当、毎利員、指導員、島根県トライアスロン協会審判員。							
指標 目標値 (1)大会の開催数 (1)2回 (2)参加人数 (2)65 人 (3)メタンア人数 (3)メイン		、具体的内容。 (1)2012チャレンジザバングin大田を2012年7月3日と2012年10月7日に開催する。 (2)参加人数60人を目標。 (3)スタッフ40人を目標。					
3自転車競技登録者数 定期的公練習会活動	(1)60大 (2)6回	(1)現状の2倍に相当する60人の自転車競技登録者増加を目標とした。 (2)この大会がさっかけて定期練習会を普夏秋で計6回・年程度が開催されることを目標。					
旨標 地境方新聞稿載 ホームページ(更新回数)	_目標値 (1)2回 (2)5回 年	具体的内容。 (1)地方新聞に2012チャレンシザバンタin大田の取材依賴とリザルト掲載の依頼を行う。 (2)本補助事業のホームバージを作成し事業の状況を発信する。					
チラン掲載 看販設置 ホームページ掲載	(1)1000校 (2)会場内2ヶ所 (3)トップページに掲載2ヶ)	(1)配布する1000枚の開催要項兼申込書チランに、補助金による事業であることを紹介する。 (2)2012チャレンシザベンタin大田の会場内2ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載する。 (3)ホームペーシのトッフペーンに、ロゴを掲載して該当ホームページペリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載する。					
春板設 ホーム・ 12チャ	置べ一ジ掲載	場載 (1)1000枚 置 (2)会場内2ヶ所 ペーン掲載 (3)ホップペーシに掲載2ヶ レンジザインクロ大田の六会終了後の1)					

採点

3

事業終了後に自己評価を実施してくださ

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

①自己	評価 【 〔事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。〕	
事業全体に ついての意見 ・所感	自転車競技場は利用の制物が少がいこともあり、一般初心者対象の大会を開催できて成功と考えている。練習会の数を増やす案も出ており、スポーツの中の自転 競技として更なる普及活動を検討していきたい。	· 車
優れている点・課 題、改善すべき点	【実績】運営マニュアルの整備とスタンフ体制の確立及び経験ができた。【課題】事業としては大きな成果を得ることができたと考えている。もっと経験させたい。一部の人しか閲覧しない募集チラシやホームページでの募集に限られたことも課題えている。	と考
その他、アピー ルしたい点、是 非知ってもらい たい点		^{采点} 3
② 自己	評・価 1 (平成26年2月末時点に、(2)個別評価項目「事業の成果・波及」の状況を確認し、補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の解決等)の達成状	況
補助事業が最終 的に目指すこと (課題の解決等) の達成状況及び 今後の展望		

□評価 I 幼児から一般の初心者を自転車競技の体験ができる大会を2012年7月1日と2012年10月7日の2回開催した。
 □ スタッフ及び参加者で71人の参加となった。競技種目はキッズケイリン・デュアスロン・チャレンジトライアルの3種目を実施した。
 □ キャンストン・デュアスロン・チャレンジトライアルの3種目を実施した。
 □ キャンストン・デュアスロン・チャレンジトライアルの3種目を実施した。
 □ キャンストン・デュアスロン・チャレンジトライアルの3種目を実施した。
 □ キャンストン・デュアスロン・チャレンジトライアルの3種目を実施した。
 □ オリより、委員会を1回 / 月程度開催。実施計画の詳細安全性の確保、参加者募集などについて検討及び準備を実施した。

事	業内容	4月より、委員会を1回/月	程度開催し実施計画の記	9イアルスはBMNブリースタイルの選手を括鞭しデモシストレーションを実施した 日より、委員会を1回/月種度開催。実施計画の詳細安全性の確保、参加者募集などについて検討及び準備を実施した 実にあたっては、運奮マニュアルを作成した ライアルやBMNブリースタイルのギモンストレーションは、びっくりする演技を披露していただき参加者に興味を持っていただく。 「松 占													
	事業の新 規性また は継続の 必要性	トライアルやBMXフリー:	スタイルのデモンストレー・	ションは、ぶっくりする演技を披露していただき参加者に興味を持っていただく。	採点 4												
	事業の発展性	回数を重ねる毎に参加者 きる。	考数は増えると考えている	- トライアスロン協会等の他団体と共催することで、他団体の種目と交流し、適性のある選手の発掘を期待で	採点												
-	実施計 画 ・体制	計画通9島根県自転車象	を扶連盟にて主管した。×	タップは20名程度確保でき計画面の実施した	採点												
	L	[達成値]	達成状況	[具体的内容]	-												
	工 自己 評価 I	(1)2箇 (2)31人 (3)40人	15100% -2552% -33100%	(1)2012チャレンジザバング1大田を2012年7月1日と2012年10月7日の2回開催した。 (2)参加人数は目標には未達だったが、スタッフ体制の習熟度からして適切な人数であった。スタッフマニュアルの更新とように、参加募集方法及びPRの方法の見直しで参加者数は60人は欲しいと分析し	採点												
達成	事業の 実施 結果			た (3)スタップ人数は目標を達成した。	3												
	②自己				採点												
	評価 11																
	事業の 成果・ 波及																
① É12	三評価 1	達成値	達成状況」	具体的内容。													
	事業の	(1)(回 (2)(回 月	1)50°c (2)100%	(1)地方新聞に2012チャレンジザバンクm 大田の取材依頼を行なったが取材は無かったがリザルトの掲載を実施していただいた (2)本補助事業のホームページを作成し事業の状況を発信した	採点												
Nik akii	結果				3												
情報 発信	競輪・オート	(1)1000枚 (2)会場内2ヶ所	1)100% (2)100%	(1)配布する1000枚の開催要項兼申込書チラシに、補助金による事業であることを紹介した。 (2)2012チャレンジザバンクin大田の会場内2+所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載し	採点												
	レース補助 金による 事業であ ること	(3)トップページに掲載	(3)100%	た (3)ホームページのトップページに、ロゴを掲載して該当ホームページペリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載した。	4												

① 自己評価 I 自己評価の体制

1 2012チャンシザバングm大田の大会終了後の7月7日に島根県自転車競技連盟役員会にて事業評価会を開催し、事務局からの今後課題について銭輪でき 探点体制 たっぱん 評価結果は団体のホームハージより結果を公表した

京研究補助の場合 は、成果の利活用 方法、を配入

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 Iに併せて実施してください。)

● 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻 害」

欄に「*」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを (b) 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。

● 促進または阻塞要因が無い場合には (16) の欄に「**を記し その理由をご記入ください。

	/E3 *#-	nu 🕁	arr for 1/4 and	事業の促進・阻害要因の自己分	T
	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
			(1) 経費	(2) デュアスロン競技については、トライアスロン協会の協力で有資格者を確保できた。また、トライアルと、BMXフリースタイルの選手の協力を得てデモンストレーションを実施し盛り上がったと思う。	
内部要因	*		(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)	(5)トライアスロン協会の協力でデュアスロン競技に ついてのマニュアル整備も出来て有益であった。	
			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
	*		(5) 事業運営の/ウ ハウ(進捗管理 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
			(7) その他		
			(8) 受益者の 規模・ニーズ	(9) 地元関係各所には案内を郵送にて送付したものの、プレゼンテーションが欠落している。 従来は当連盟の関係者が地元市町に在住しており、地元自治体等への呼びかけが有効であったが、地理的な負荷は重いと感じる。	(9) HPとSNSでのプレゼンテーションは継続する もに新聞掲載や地元自治体への依頼は強化する で次につなげたい。
		*	(9) 実施体制以外 の団体等の協 カ・支援	星がらかしな。	
			(10) 関連法制度 の変更		
外部要			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
因			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出 現		
			(15) その他		
			(16)		· · · · · ·

JKA使用欄

整理番号

1	由	請	事	業	老

中請	尹未白												
法人格	その他公共的な法人 ことの他公共的な法人 に人格取得 昭和42年10月1日		所属部署 (役職名)	事務局	長								
	プラップサージマネケンジテンシャキョウギレンメイ		****	プリ サナ ヨ	シノカツオ								
名 称	島根県自転車競技連盟	事	氏 名	吉野	勝雄								
	〒690-0033	務 担		代表	090-2809-6725								
	島根県松江市大庭町 242-2	当 者	電話	担当者	090-2809-6725								
住 所	吉野勝雄方		EAX	代表	0852-23-2194								
			1.77	担当者	0852-23-2194								
	プ gt カイチョウ ナンバシュンイチ		E-mail	代表	katuoy55@ybb.ne.jp								
代表者 氏名	<u> </u>			担当者	katuoy55@ybb.ne.jp								
(役職名)	会長 南場 俊一	ホーベー	ーム ージ http:/	//shimane-c	f.com/								
	本連盟は島根県における自転車競技を総括代表し自転車競技の健全なる普及発展を図ることを目的とする。												
団体の 使命・目的													
	① 自転車競技大会の実施。		***		過去のJKA補助実績								
	② 自転車競技の競技力向上と指導者育成活動 ③ 自転車競技大会への選手派遣、選手の登録		· 答·理	右	有 いつ 平成22年から								
	④ その他本連盟の目的に適合する一切の事業		. pa Kate										
					過去5年間のJKA補助実績								
これまで の主な													
活動内容				-75.4									
					₹22年 470千円 ₹23年 645千円								
	① 自転車競技大会の誘致および開催。												
事業の 実施責任	② 目転車競技の競技力向上活動。 ③ 日転車競技の指導者育成活動。												
者の主な経歴・業績	① 日転車競技選手の登録制度管理⑤ 国民体育大会事業。												
(研究補助	⑥ 中国大会事業⑦ 自転車競技の等及活動。												
(は別記入)	O HERMON EXTENS:												
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
特記事項													
10 的二字代													

項悉 2 総事業 4

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(2/5)

2.	申請	事業	ŧ											L	^ ,,		貝目数		
	事業名			守県:自	転車競技	運盟記錄会事	事業				事。形態		F イベント開催 07 [競技会						
											上	八							
事業	項目名	<u>ş</u>	- 根	県自転	:車競技記	録会					種類	Jan. 6-1	事業区分		[事業区分のチェッ	<u>タポイン</u>	/NI	
						要望権歴						当該事業に関し、他の団体に対する補助申請 又は補助申請予定の有無							
種別		(E)	√nk s	生面		复数年度 要望	3	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年日 10 年計画				団体名称						
他为归		(5) 継続要望			=	継続要望	平成22	22 年から 3 二年日 中断					島根県高	5等学校 体育連盟					
事	事業費総額					1,161,10	90 円 事業コード												
交	補助金付申請			774,000 円 補助対象 経費総額								1,161,100 円 補助率 2/3					$\frac{1}{2/3}$		
委託	手業の	有無	4	(iii			0 円	委託 比率	0.00 %	委託調査	の有無	有無 無						0.00 %	
委	託想定	先	ı		**************************************			2				3							
	補助金を必要とする理由			獲得ること	も苦労し	ており参加料	による自	主財	原のみの	運営を計画	斬すれ に	が参り	加数も減	ること	が予想	うような背景で する。自転車り ば開催の計画	競技を	開催す	
3	2击 Bh 3	車型	· 😑	協力	心变色	中(岩葉)							(Kral) II	亚.此)4年4月	日1日 作改者	走: 田3	胀炸	

び受益者(ニーズ)との関係で整理してください。	
事業の直接的た目的を達成し 最終的にけ 社会的課題が改善 値	177

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及 補助事業の結果(アウトフット)・成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、最適、解決等された社会等の状況「目指す姿」の実現[(1)の補助事業が最終的に目指すこと]を図ります

(1)補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください。

1	補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)
社会的課題 の現状	島根県において、自転車競技会の開催数が少ないこと、自転車競技人口が増えていないこと、他県に比べて競技力が劣っているのが現状であり改善したい。
目指寸姿	島根県において、自転車競技会の開催数を増やすことで、自転車競走の機会を多くするとともに、自転車競技会参加のきっかけをつくることで、競技人口を増やす。

(2)補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトブット)、成果(アウトカム)の直接的な効果により達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的

地域における自転車競技会の開催数を多くして、参加の機会を多くし自転車競技人口を増やす。また関係地元への告知により、自転車 競技への理解を促進させる。

島根県自転車競技記録会 JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(3/5)

4 補助事業の事前計画

				補助事業						
	受益者:ズ)	が少ないこともあってか、	本地域に居住する小学生、中学生、高校生、一般、初心者でも参加できる自転車競技会の開催数が少たかったことで、競技の機会も無かった。本地域には人口が少ないこともあってか、全国レベルでのスポーツの成績は奮っていない。自転車競技に対しての練習環境は他県より優位であり、スポーツの中の自転車競技として地域活性の原動力とよりうるニーズがある。							
(2) 3	事業内容	トラック競技は2012年7 る。会場は、トラック競技 ロート競技は奥出雲町 MTB競技は邑南町の シクログロス競技は奥比 島根県体育協会や教育	月7日、ロード競技は20 日は大田自転車競技場 と震南市にまたがるさく 端聴ハイランドの特設ニ 雲町と雲南市にまたが 手委員会、高校体育連盟	らおろら湖サイクリングコースと自転車競技施設を使用する。						
性	業の新規 または継 の必要性		1するので、一般住民の方	や観光者の方にも情報提供を行うことができ、自転車競技への理解と関心を深めることと期待する。						
	事業の 発展性	回数を重ねる毎に参加者	数は増えると考えている。	他団体と連携することで、自転車競技への理解と関心が深まると期待する。						
-	予算等	【事業の完了時期】 「平成24年11月11日 」 【予算】別組:収支予算書のとおり【スケジュール】別紙:スケジュール表のとおり								
実計	画 実施	会場は、トラック競技は大田自転車競技場を使用する。 ロード競技は集出雲町と装備市にまたがあさらおわら調サイクリングコースと自転車競技施設を使用する。 MTB競技は邑南町の瑞穂ハイランドの特徴コースを使用する シクロクロス競技は集出雲町と雲南市にまたがあさくわおろち湖自転車競技施設を使用する。								
9	上 施体制	島根県自転車競技連盟にて主管する。スタッフはトラック競技が20名程度、コード競技が80人程度、MTB競技が30人程度、シグログロス競技が20人程度を募集 して実施する。 統括責任者: 当団体会長1名、 運営責任者: 当連盟事務局長1名、 委員: 当連盟強化担当、移利員、指導員、自治体職員								
		[指標] (1)大会の開催数	目標値] (1)4回	- 具体的内容 (ロドラック競技は2012年7月7日、コード競技は2012年5月27日、MTB競技は2012年6月17日、シケコクロ						
(3)	事業の 実施 結果	(2)参加人数 (3)スタップ人数	(20140 A (3)110 人	ス競技は11月11日に大会を開催する。 (2)参加人数目標。トラック競技は30人、ロード競技は50人、MTB競技は30人、シクロクロス競技は30人、 140人 (3)スタッフ人数目標。トラック競技は20人、ロード競技は70人、MTB競技は30人、シクロクロス競技は20人、計140人						
達成目標	事業の 成果・ 波及	(1)自転車戰技發錄者数 (2)定期的公練習会活動	(1)60人 (2)6回	(1)現状の2倍に相当する60人の目転車競技登録者増加を目標とした。 (2)この大会が含ったよけて1回、月程度の練習会で発度秋で計6回 年程度が開催されることが目標。						
		指標	[目標値]							
(4)	事業の 結果	(1)地方新聞掲載 (2))地方テレビ局放映 (3):(更審回数)	(1)8回 (C)4回 (S)1回 月	(1)地方新聞に鳥根県自転車競技記録会の取材依頼を行う。リザルド掲載を行う。 (3)地方テレビに島根県自転車競技記録会の取材依頼を行う。 (3)本補助事業のホームページを作成。事業の状況を発信する。						
情報	競輪・マートレース補助金による事業によった。		(1)1000枚 (2)会場内2ヶ所 (3)トップページに掲載	(1)配布する1000枚の開催要項兼申込書チラシに、補助金による事業であることを紹介する (2)各大会会場内2ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載する。 (3)ホームページのトップページに、ロゴを掲載して該当ホームページへリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載する。						
(※研究 合は、	本制	客観的な評価に努める。 評価結果は団体のホーム		盟役員会にて事業評価会を開催予定である。 5。						

事 業終了後に自己評価 $\overline{4}$ 5 5 5 5 を実施してください

事業終了後に自己評価を実施してください

島根県自転車競技記録会

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

自己評価፤作成日	平成2	4年1	1月2	5日	作成者	吉野勝雄
自己評価Ⅱ作成日	平成	年	月	Ħ	作成者	

10 自己	評価 【 〔事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。〕
事業全体に ついての意見 ・所感	一般の初心者まで参加可能の大会を開催できたが、参加者数が伸びており成果が出来てきたと考えている「ラック競技の参加者数はまだ少ないのでPR活動や普及 を検討していきたい
優れている点・課題、政器すべき点	【実績】 運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。 【課題】 事業としては成果を得ることができたと考えている・一部の人しか閲覧しない募集モランやホームページでの募集に限られたことも課題と考えているロード競技については、公道での交通應要により周辺地域の通行者から苦情があり、ご迷惑をおかけしたことが今後の課題である。
その他、アピー ルしたい点、是 非知ってもらい たい点	運営マニュアルの整備とスタック体制の確立及び経験ができた
② 自己	評・価 1 〔平成26年2月末時点に、(2)個別評価項目「事業の成果・波及」の状況を確認し、補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の解決等)の達成状況 及び、今後の展望をご記入ください。〕
補助事業が最終 的に目指すこと (課題の解決等) の達成状況及び 今後の展望	

(2)	個別	項目評価 😘	美施状況等を振り返り、	個別に評価してください。]	
(①自己	評価 [② 自]	.評価Ⅱ 〔個別	の評価項目について、事前計画の達成状況等を把握し、分析・評価してください。	
T H E	2評価 I			なく、競技の機会も無かったことについて、実施できたことは成果があった。今後は一般初心者対象の練習 連競技として地域活性の原動力となることを期待したいが、その仕組みを検討していく	採点
	を益者 ニーズ)	THE SACTOR OF THE SECTION	The Control of the Co		3
	三評価 1 業内容	トラック競技は2012年7月7 4月より、委員会を1回/月 きた	■、コード競技は2012年 程度開催し実施計画の詳	927日、MTB競技は2012年6月17日、シタロクロス競技は2012年11月11日に大会を開催した 細安全性の確保、参加者募集などについて検討及び準備を実施し、運営にあたっては、運営マニュアルを	作成で
	事業の新	ロードレースは公道を使用	するので、一般住民の方	や観光者の方にも情報提供を行うことができ、自転車競技への理解と関心を深めれたと思う。	採点
	規性また は継続の 必要性				3
		回数を重ねる毎に参加者	类(は増えると考えている。	自転車競技への理解と関心が探まると期待する。	採点
	事業の 発展性				3
		計画通り島根県自転車競	抜連盟にて主管した。 スタ	ッフは計138名確保でき計画通り実施した。	採点
	実施計 画 ・体制				4
	① 自己	達成値。 (14回	[達成状況] 11100%	- 異体的内容 (1)トラック競技は2012年7月7日、ロード競技は2012年5月27日、MTB競技は2012年6月17日、シクロクロ	· 157 占
達成	の 評事実施 実施果	(2)137 人 (3)138 人	12948°, 39125°,	(1) ボラン駅(大は2012年1月15日) 開催した。 (2) 参加人数はほぼ達成 トラック競技は20人、ロード競技は50人、MTB競技は36人、シクロクロス競技 (3) 4、計137人、トラック競技とにおいては、参加募集方法等見直しが必要で参加数を増やす必要が あると分析する。 (3) スタッフ人数はほぼ達成、トラック競技は22人、ロード競技は72人、MTB競技は30人、シクロクロス競 技は14人、計138人	採点 4
目標	②自己評価Ⅱ				採点
	事業の 成果・ 波及				
O BE	評価I	_達成値_ (1)5回	達成状況 D63%	具体的内容	D
	事業の 結果	(3)0.5回 月	1703 % - 2350% - 3350%	(1)地方新聞に各大会の取材依頼を行なった。取材はロード競技の1回、リザルトの掲載を実施していただいた。 (2)地方テンビ局に各大会の取材依頼を行なった。取材はロード競技とシクロクロス競技の1回づつ地元 ケーブルテレビによる取材。 (3)本補助事業のホームページを作成し事業の状況を発信した。	<u>採点</u> 1
情報 発信	競輪・オート レース補助 金による 事ること	(1)1000枚 (2)会場内に所 (3)トップ・ハージに掲載	(1), 00% (2), 00% (3), 00%	(1)配布する1000枚の開催駅頃兼申込書チランに、補助金による事業であることを紹介した。 (2)各大会会場内2ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載した。 (3)ホームハージのトップページに、ロゴを掲載して該当ホームハージへリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載した。	採点 4
	.評価 I	大会終了後の7月7日と11	11日に島根県自転車駅	技連盟役員会にて事業評価会を開催し、事務局からの今後課題について議論できた	採点
※研究† は、成	評価の体制 補助の場合 果の利活用 : を記入	評価結果は団体のホーム	トーンより結果を公表した		2

- (3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 Iに併せて実施してください。)
 - 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」
 - 欄に「*」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b)欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
 - 促進または阻塞要因が無い場合には (16)の欄に「* お記し その理由をご記入ください。

	153.74	ED ep	無に17人 本本	事業の促進・阻害要因の自己分	
	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容 (2)ロードレースコースは公道を使用しているため、	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか
			(1) 経費	役員数の確保が必要であり、苦労している。 (5)マニュアルを整備できて有益であった。MTB競技と、シクコクロス競技については、地元スポーツクラ	(2)有資格者はもっと増やせるよう協力者を求めて く。
		*	(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)	ブの協力を得て運営も円滑に出来たと思う。	
内			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
部要因			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
	*		(5) 事業運営の/ウ ハウ(進捗管理。 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更 (主に建築)		
			(7) その他		
			(8) 受益者の 規模・ニーズ	(9)地元自治体の協力が薄く、更に交流を深めて盛 り上げたい。	(9) 地元NPO法人とも連携を強化する。大きな大では、地元自治体の協力が必要。
		*	(9) 実施体制以外 の団体等の協 カ・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
外部要			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
因			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出 現		
1	1		(15) その他		

JKA使用欄

整理番号

1.	申	請	事	業	者
٠.	.,.		_	~	=

, , ,	<u> </u>									
法人格	その他公共的な法人	<u></u>	昭和42年10月1日		所属部署	事務局				
		LL	昭和42年10月1日		(役職名)					
h. =1	プ サナシマネケン	/ンナンシャキ	Fョウギレンメイ 		ere ti	#+ 3	プリカツオ ガナ ヨシノカツオ			
名 称	島根県自転車競	技連盟		事務	氏 名	吉野	勝雄			
	T690-0033	rep. mar		担	電話	代表	090-2809-6	3725		
	島根県松江市大 242-2	庭:甲]		当者	电位	担当者	090-2809-6	5725		
住 所	吉野勝雄方				FAX	代表	0852-23-21	194		
					UNA	担当者	0852-23-21	194		
	っ; サナ カイチ	ョウ ナンバ:	シュンイチ		E-mail	代表	katuoy55@ybb.ne.jp			
代表者 氏名					e man	担当者	katuoy55@ybb.ne.jp			
(役職名)	会長 南場 俊			Α-	- 2	//shimane-c				
	本連盟は島根県に	おける自転車競	2技を総括代表し自転	車競打	支の健全なる	3普及発展を	図ることを目的とする。			
団体の										
使命·目的										
		1. A as (1246)								
	① 自転車競技② 自転車競技	へ云の美施。 り競技力向士	こと指導者育成活動	ի շ			過去のJKA補助実	積		
	③ 自転車競技	大会への選手	- 派遣、選手の登録	制度	管理。	有	・ いつ 平成22年から	>		
	④ その他本連盟	盆の 目的だっ 遁	f合する一切の事業	ξ υ			過去5年間のJKA補助	力実績		
これまで										
の主な 活動内容										
							322年 257千円			
						平成	23年 392千円			
	6) 6 4 + 44 + 4	L. A. R. M. 1 - 1	► ~ 10 H 1년							
毒 华. r.	② 月転車競技の	大会の誘致お』 の競技力向上記	舌動。							
事業の実施責任		の指導者育成治 選手の登録制度								
者の三な経 歴・業績	⑤ 国民体育大会	会事業:	∼ in rates							
(研究補助 は別記入)	⑥ 中国大会事⑦ 自転車競技	** ひ普及活動。								
	14-					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
特記事項										
ĺ	-									

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(2/5)

2.	申請	事業											L	項番	3 / [質目数 4
補助	事業名	都	道府県	自転車競技	支連盟県別選 =	手権事業		,		事業形態				Fイイ	ベント開催 07 競技会	7
<u> </u>			 -							公主	上 注目的	事業性	青報		事業区分のチェッ	カギオスピ
事業」	項目名	島	根県自	転車競技選	漫手権大会					種類		事業区分			尹宋 [公月077年9]
┢					要望模歷	teritoria esperatura la propiesa de la composición de la composición de la composición de la composición de la				1	当	 			団体に対する補	助申請
					複数年度 要望	3			10		and the second		又は神		青予定の有無 団体名称	
種別		(5) ź	継続盟	要望	継続要望	平成22	平	- 月 /	中無無	有	島	根県高	等字校	体育連		
車	業費総	drii			060.10	00 円		事業:コー-	·3'							
-	未复布) (5 5)			969,10 											
	補助金 付申請	•			646,00	00 円		前助対象 E費総額				969,	100	円	補助率	2/3
委託	事業の	有無	無			0 円	委託 比率	0.00 %	委託調査	の有無	無				0 円	委託 0.00 %
委	託想定	先:	1				2						3			
	前助金を をとする:		獲 する	得も苦労し ることで競り	ており参加料	∤による自 言と選手の	主財源	原のみの〕 にも寄 <i>与</i> ・	重営を計画 すると考え	ければ ている。	参加 補助	数も減 金等の	ること 支援	が予想 が無け <i>。</i>	される。自転車 れば開催の計	
	\ + □ + ¬	= **		↑ ≥ ₹5	.µ. / ==== +== \										0.5	(m- m/ ()

3. 補助事業実施の必要性(意義)

1596 [1	十成34年4月	1 (1)	FIN A	古罗斯姆维	
ズ)との関係	で整理してく	ださい			

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及び受益者(ニー 補助事業の結果(アウトブット)・成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況「目指す姿」の実現[(1)の補助事業が最終的に目指すこと]を図ります

(1)補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください

4	補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)
社会的課題 の現状	島根県の自転車競技力は高いとは含えないが、中国地域選手権への参加資格を得る位置付けとしての島根県自転車競技選手権大会。地元の観光産業は厳しい状態である。地元の自転車競技への理解度が薄くスタッフ動員に苦労している。
目指寸姿	中国地域選手権への派遣を選考するための自転車競技選手権大会を開催し、競技力向上を目指す。地元の観光産業も活性化に寄与する。関係する地元の方に自転車競技への理解度を高める。

(2)補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトブット)、成具(アウトカム)の直接的な効果により達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的

島根県における自転車競技選手権大会。競技に集う事で、切磋琢磨し競技力向上を図る。地元の観光産業も活性化に寄与し、自転車 競技への理解度を高める。

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(3/5)

				補助事業						
		島根県に居住する自転車競技登録者。中国地域選手権への派遣するメンバー・登書するための、島根県自転車競技選手権大会としてニーズがある。島根県。 競技力向上としてニーズがある。地元の観光産業も活性化にも寄与するニーズがある。								
(<u>2</u>) ±	事業内容	会場は、トラック競技に ロード競技は今年完成 島根県体育協会や教	成したさくらおろち湖サイク :首委員会、地元市町村と	バンク内と管理棟施設を使用する。 グレッグコースと自転車競技施設を使用する。 連携して催す。 小競技は150人を予定する。						
_		C. 441 - 15		ースコース、公道ということもおり自転車競技を見ていただき、自転車競技に関心を持っていただきたい大会と						
佳	「業の新規 生または継 その必要性	なるので必要と考える。	TO DENTAL STATE OF THE STATE OF	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	事業の 発展性	トラック競技は、一般的に	ラック競技は、一般的には馴染みにくいが、継続して開催することで、自転車動技や競輪に関心をもっていただけると考える。							
1 .	予算等 計画 実施 場所	トラック競技は2012年4月 2月より委員会を1回 月	【事業の完了時期】 [平成 年 月 日] 【予算】別紙:収支予算書のとおり【スケジュール】別紙:スケジュール表のとおりトランの競技は2012年4月 5日、ロード競技は2012年4月22日に大会を開催する。 2月より委員会を1回「月程度開催」進捗はeメールによる情報共有でスタッフ動員、詳細安全性の確保などについて検討及び準備を実施する。運営にあたっては、運営マニュアルを作成する。							
(etc.)	実施体制	統括責任者: 当団体会長 運営責任者: 当連盟事	联名、	ラック競技が20名程度、ロー、競技が100人程度で実施する。 ツクラブ。						
(3)	事業の 実施 結果	指標: (1)欠会の開催数 (2)診加人数 (3)※タティ人数	目標値 (1):回 (2)70 人 (3)130 人	- 具体的内容。 (1)ドラック競技は2012年1月13日、ロード競技は2012年4月22日に大会を開催する。 (2)参加人数目標、トラック競技は20人、ロード競技は50人。計70人 (3)スタッフ人数目標、トラック競技は36人、ロード競技は100人。計130人						
達成目標	事業の成果・波及	(1)自転車競技登録者數	(1)60 X	(1)現状の2倍に相当する60人の目転車競技登録者増加を目標とした。						
	事業の結果	上指標。 (1)地方新開稿載 (2))地方テービ局放映	(1)4回 (2)2回	「具体的内容」 (1)地方新聞に鳥根県自転車競技選手権大会の取材依頼を行う。リザルト掲載を行う。 (2)地方テレビに島根県日転車競技選手権大会の取材依頼を行う。						
	競輪・オー トレース補 助金によ る事業で	(1) チラシ掲載 (2)者板設置 (3)ホームペーシ掲載	(1)500校 (2)会場内2ヶ所 (3)トップページに掲載	(1)配布する500枚の会集案内チラシに、補助金による事業であることを紹介する。 (2)各大会会場内2ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載する。 (3)ホームページのトップペーシに、ロゴを掲載して該当ホームページへリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載する。						
	あること	1								

*業終了後に自己評価を実施してください

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

自己評価 I 作成日 平成24年5月13日 作成者 吉野勝雄 自己評価 I 作成日 平成 年 月 日 作成者

() / (PU) pur	1 11
① 自己	評価 【 [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。]
事業全体に ついての意見 ・所感	競技者登録数が少ないがで、参加者数が伸びなかったことは残念な結集であるが、スポーツの中の自転車競技として関係団体と連携してPR活動や普及を検討して いきたい
優れている点・課題、改善士べき点	【実績】 運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。 【課題】 事業としては成果を得ることができたと考えている。一部の人しか閲覧しない募集デラシやホームページでの募集、こ限られたことも課題と考えている。ロード競技については、公道での交通進所により地元の方には、ご迷惑をおかけしたことが今後の課題である。
その他、アビー ルしたい点、是 非知ってもらい たい点	運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。 3
② 自己	評価 1 [平成26年2月末時点に、(2)個別評価項目「事業の成果・波及」の状況を確認し、補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の解決等)の達成状況 及び、今後の原望をご記入ください。]
補助事業が最終 的に目指すこと (課題の解決等) の達成状況及び 今後の展望	

事 (2) 個別項目評価 〔実施状况等を振り返り、個別に評価してください。〕

(2)	個別」	項目評価	[実施状況等を振り〕	区り、個別に評価してください。)	
	①自己	.評価 I ② 自	己評価Ⅱ〔	個別の評価項目について、事前計画の達成状況等を把握し、分析・評価してください。)	
T Ba	2評価]		『遺するメンバーを選考	するための、島根県自転車競技選手権大会として開催できた。島根県の競技力向上としてのニーズと、地元の	採点
	を を を そ せ せ し て が り し し し し り し り り り り り り り り り り り り	観光座業も荷怪化にも	奇寺 するエースに対し	てはこれをきっかけに仕組み作りを検討していく。	3
ी हैं	已評価 1	1.5/r mt 1.+2019 年 4	自15日 cz. 16雑牡/+2	012年4月22日に大会を開催した。	
	業内容	2月より、委員会を1回 運営マニュアルを作成 新コースとなるロート競 1000部を作成して登録	月程度開催し進捗はe. した 技においてはチラシ50 者及び島根県自転車覧	メールによる情報共有でスタッフ動員。詳細安全性の確保などについて検討及び準備を実施した。運営にあたっ 0割を作成して地元周辺市町村に配布して、大会とコースの情報提供を行なった。また、参加募集に大会要項チ 度技連盟会員や地元市町村に配布して広く募集した	ラシ
	事業の新 規性また	ロードレースの会場は呼 競技を見ていただき、E	作年 宅式した新しいロー 三転 車競技に関心を持	・ドンー・スコースで、当日はダムの見学者もあり平常時より観客は多かった。 公道ということもあり一般者にも自転車 っていただけた大会であったと考える。	
1	は継続の必要性				4
ļ	事業の	トラック競技は、フェイス	ブックやHPを見て、興	味を持って来たという方が3人おられた。多くは無いものの今後につながると考える	採点
	発展性				3
	実施計	計画通り島根県自転車 スタッフはトラック競技カ			採点
	・体制				4
	O ME	[達成値] (1)2回	達成状況] (1)100%	[具体的内容] (1)トラック競技は2012年4月15日、ロード競技は2012年4月22日に大会を開催した。	採点
	」 評価事業の 実施 結果	(2)60 Å (3)120 Å	12)36% (3)92%	(2)参加人数は未建。トラック競技は124人、ロード競技は46人、計60人 参加募集方法等見直しが必要で参加数を増やす必要があると分析する。 (3)スタック人数は未達 トラック競技は23人、ロード競技は97人、計120人	3
達成目標	②自己評価 Ⅱ				採点
	事業の 成果・ 波及				
CO BE	「評価 I	(達成値) (1)2回	_ 達成状況	[具体的内容] (1)地方新聞に各大会の取材依頼を行なった リザルトの掲載を実施していただいた。	採点
情報	事業の 結果	(2)1頃	2)50%	②地方デレビ局に各大会の取材依頼を行なった。テレビ取材は地元ケーブルテレビで1回取り上げていただいた	1
発信		(1)500枚 (2)会場内2ヶ所	1)100% (2)100%	(1)配布する500枚の会場案カチラシに、補助金による事業であることを紹介した。 (2)各大会会場内2ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載した。	採点
	ルース補助 金による 事業であ ること	(3)トップページに掲載	(3)100%	(3)ホームページのトップへ・プに、ロゴを掲載して該当ホームページへリンクを貼るとともに本事業が補助金による事業である旨を掲載した	4
	 評価 評価	大会終了後の5月27に 評価結果は団体のホー		 投員会にて事業評価会を開催し、事務局からの今後課題について議論できた。 表した	採点
※研究 は、「成	#伽の俗制 補助の場合 果の利活用 まを記入	er i man i dan 2000 timber hadi d an 2000 ti	2 5. FG 200 LA 5		2

- (3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 Iに併せて実施してください。)
 - 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻 害」
 - . 欄に「*」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b)欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
 - 促進またけ阳雲専田が無い場合には (16)の欄に「* を記し、その理由をご記入ください。

				事業の促進・阻害要因の自己会	分析
	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか
			(1) 経費	(2)ロードレースコースは公道を使用しているため、 役員数の確保が必要であり、苦労している。 (5)マニュアルを整備できて有益であった。	(2) 有資格者はもっと増やせるよう協力者を求めてく。
		*	(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
内			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
部要因			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
	*		(5) 事業運営のノワ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更 (主に建築)		
			(7) その他		
			(8) 受益者の 規模・ニーズ	(9)地元自治体の協力が薄く、更に交流を深めて盛り上げたい。	(9) 地元NPO法人とも連携を強化する。大きな大では、地元自治体の協力が必要。
		*	(9) 実施体制以外 の団体等の協 カ・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
外部要			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
女因			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出 現		
			(15) その他		
			(16)		

JKA使用欄

1	由	請	車	業	者
			-	\sim	_

1. 申請	事業者				整理番号		
法人格	その他公共的な法人		所属部署 (役職名)		司長		
	プリ ササ シマネケンジテンシャキョウギレンメイ			フ; ガナ	ヨシノカツオ		
名 称	島根県自転車競技連盟	事	氏 名		勝雄		
	〒690-0033	務 担	and the	代表	090-2809-6725		
	島根県松江市大庭町 242-2	当 者	電話	担当者	090-2809-6725		
住 所	吉野勝雄方		FAX	代表	0852-23-2194		
			UALA	担当者	0852-23-2194		
	75 カイチョウ ナンバシュンイチ		E-mail	代表	katuoy55@ybb.ne.jp		
代表者 氏名			to man	担当者	katuoy55@ybb.ne.jp		
(役職名)	会長 南場 俊一 		-ジ │ ^{htt}	p://shimane-			
	本連盟は島根県における自転車競技を総括代表し自転	車競打	支の健全な	お普及発展	を図ることを目的とする。		
団体の 使命・目的							
	① 自転車競技大会の実施。			·	過去のJKA補助実績		
	② 自転車競技の競技力向上と指導者育成活動 ③ 自転車競技大会への選手派遣、選手の登録	制度	管理。	1			
	④ その他本連盟の目的に適合する一切の事業	i o			過去5年間のJKA補助実績		
これまで の主な 活動内容				社 (支23年 1569 千円		
事業の 実施責任 者の主な経 歴・業績 (研究補助 は別記入)	① 自転車競技大会の誘致および開催。 ② 自転車競技の競技力向上活動。 ③ 自転車競技の指導者育成活動。 ① 自転車競技選手の登録制度管理。 ⑤ 国民体育大会事業。 ⑥ 中国大会事業 ⑦ 自転車競技の普及活動。						
特記事項							

項番 4 総事業 4

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(2/5)

2. 1	申請	事業													يا النسل	項目数	
	補助事業名 都道府県自転車競技連盟地域別選手権事業								事業 形態 F イベント開催 07								
冊功。								一一形態	· [競技会]			
 												企目自	的事業情報	報	事業区分のチェ	ックポイ:	/ F ;
事業」	頁目名	#	国地	!域自	転車競技	選手権大会					種類		事業区分	Ε	沿って]
						要望艰歷						业			団体に対する裕	申助申記	肯
	1					複数年度				1 ^	_		又	は補助申	請予定の有無		
種別		(5) á	继续	生田	亡月	要望	2	4	目 /	10	+画	L	団体名称				
145.7/1		(0) 1	PECAS	儿女	=	継続要望	平成23	年から	[2 _4	明典無	有	ц	中国地域高	等学校体育	予連盟		
ide:	業費經	> 安石				1 506 00	Λ Π		事業コー	-33							
-33*	未复税	金貝				1,526,30	00 円										
	補助金付申請					1,017,50	00 円		甫助対象 圣費総額			1	,526,3	00 円	補助率	2	2/3
委託	事業の	有無	無	Ħ.			0 円	委託 比率	0.00 %	委託調查	歪の有無	#			0 円	委託 比率	0.00 %
委	託想定	先	1					2					:			N.	
	前助金 を とする			源の 県対	みの運営 抗の大会	ては計画が	できない 競技力の	。この)向上	大会を各 b図られる	県持ち回り と考える。	りで開催し また、全	.て、 国規	いるが、継 見模の大 <i>会</i>	続させる	しており参加料 ことで、優秀な けるため、地域	選手が	現れ、各

(1)補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください。

	補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)
社会的 課題 の現状	世界的に日本の自転車競技力は高いとは言えないが、世界戦やオリンピックを目指す全日本選手権への参加資格を得る位置付けとしての中国地域の自転車競技選手権大会 地元の観光産業は鮫しい状態である。
目指寸姿	世界的に日本の自転車競技力を高いところまで高める。世界戦やオリンピックを目指す為の全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の代表選考会的な自転車競技選手権大会を開催する。地元の観光産業も活性化に寄与し、自転車競技への理解度を高める。

(2)補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトブット)、成果(アウトカム)の直接的な効果により達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的

地域における自転車競技選手権大会。競技に集う事で、切磋琢磨し競技力向上を図る。地元の観光産業も活性化に寄与し、自転車競技への理解度を高める。

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

				補助事業				
) 受益者 ニーズ)			代表者。世界戦やオリンピックを目指す為の全日本選手権への参加資格を得る位置付けとして中国地域の7 でニーズがある。各県対抗大会としてニーズがある。地元の観光産業も活性化にも寄与するニーズがある。				
(2)	事業内容	会場は、奥出雲町とま 島根県体育協会や勢	製南市にまたがるさくら	各黒代表者の参加による大会。 おろち湖サイクリンクコースと自転車競技施設を使用する。 村と連携して催す。 メタッフは各県へも役員を要請して開催する。 ・予定する。				
档	事業の新規 生またけ継 売の必要性	ロードレースの会場はR なるので必要と考える。	経完成した新しいロー	・レースコース、公道ということにあり自転車競技を見ていただき、自転車競技に関心を持っていただきたい大。				
	事業の 発展性	さくらおろち湖のロードロ	ンースコースで、今後全国	国規模の大会を誘致できるように、スタップ体制を充実させたいと考える。				
	予算等	【事業の完了時期】 2012年6月10日に大会 2月より、委員会を、回 は、運営マニュアルそ作	対開催する。 月程度開催し進捗はeメ	10日] 【予算】別組:収支予算書のとおり【スケジュール】別紙:スケジュール表のとおり ロールによる情報共有でスタップ動員、詳細安全性の確保などについて検討及び準備を実施する。適當にあた				
< /	実施体制	場所 コードレースコースについてはチラン500部を作成して地元周辺市町村に配布して、大会とコースの情報提供を行う。 島根県自転車競技通盟にて主管する。スタッフは110人程度で、役員の不足分については、各県に有資格の審判役員を派遣して補ない実施する。 総営責任者: 当団体会長1名、 適営責任者・当演児事務局長12						
(3)	事業の 実施 結果	指標 (ロ大会の開催数 (2)参加人数 (3)スタッフ人数	_ 目標館_ ①11回 (2100人 (3)110人	_ 具体的内容 (1)2012年6月10日に大会を開催する。 (2)参加人数目標。100人。 (3)スタッフ人数目標。110人。				
達標	事業の成果・波及	(3)自転車競技登録者数	10607.	(1)現状の2倍に相当する66人の自転車競技登録者増加を目標とした。				
	ļ	「指標」 ①地方新聞掲載	月標値	具体的内容。				
(4)	事業の結果	(11地方将衛後載 (21)地方テンビ局放應	(1)2回 (2)1回	(1)地方新聞に中国地域自転車競技選手権大会の取材依頼を行う。 (2)地方テレビに中国地域自転車競技選手権大会の取材依頼を行う。				
情報発信	競輪・オートルース補助金による事業であること	(1)平ラシ掲載 (2)看板設置	(1)500校 (C)会場内3ヶ所	(1)配布する500枚の会場案内チラシに、補助金による事業であることを紹介する。 (2)各大会会場内3ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載する。本補助事業のホーム ページを連携する地元の団体等のHPにリンクを張ってもらい情報を発信する。				
	体制	各大会終了後の1/2月以客観的な評価に努める。 評価結果は団体のホー		 支連盟役員会にて事業評価会を開催予定である。 セス				

事 業終了後に自己評 価 4 5 5 5 を実施してください

事業終了後に自己評価を実施してください

中国地域自転車競技選手権大会

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1)総合評価

 自己評価 I 作成日
 平成24年6月24日
 作成者
 吉野勝雄

 自己評価 I 作成日
 平成年月日
 作成者

1 自己	評価 I 〔事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。〕	
事業全体に ついての意見 ・所感	ロード競技においては、公道の交通運断により、ご迷惑をかけたことは今後の課題 地元の観光産業も活性化にも寄与するニーズに対しては達成しており、地元が は評価を得ることができてた。スタッフ確保については地元の団体と連携して確保していきたい、トラック競技においては台風の直撃により、参加できない方がおられ 念であった。	ら 1 残
優れている点・課題、改善すべき点	【実績】 運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた 観光産業にも寄与したと考える。【課題】 ロード競技においては、公道の交通遮断により、ご迷惑をかけたことは今後の課題。	
その他、アピー	運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。	点
ルしたい点、是 非知ってもらい たい点		< 1
② 自己	評価 1 (平成26年2月末時点に、(2)個別評価項目「事業の成果・波及」の状況を確認し、補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の解決等)の達成状況 及び、今後の展望をご記入ください。)	R
補助事業が最終 的に目指すこと (課題の解決等) の達成状況及び 今後の展望		

事(2)個別項目評価 〔実施状況等を振り返り、個別に評価してください。〕

(2)	個別」	頁目評価	〔実施状況等を振り〕	図り、個別に評価してください。) 	
(1 自己	評価 [2]	自己評価Ⅱ	個別の評価項目について、事前計画の達成状況等を把握し、分析・評価してください。)	•
- 受	已評価] を益者 ニーズ)	中国地域の代表選 元の観光産業も活作 きない方がおられ残	生化にも寄与するニーズに	権大会として開催できた。ロード競技においては、公道の交通遮断により、ご迷惑をかけたことは今後の課題。地 対しては達成しており、地元からは評価を得ることができてた。トラック競技においては、台風の直撃により参加で	採点 3
	学科容 第内容	4月より、委員会を11 運営マニュアルを作	回 月程度開催し進捗はe: i成した	ぐ競技は2011年6月19日に大会を開催した メールによる情報共有でスタッフ動員、詳細安全性の確保などについて検討及び準備を実施できた。運営にあた 作成して地元園迈市町村に配布して、大会とコースの情報提供を行なった。	っては、
	事業の新 規性また は継続の 必要性	ロードレースの会場 競技を見ていただき	は昨年。完成した新しいロー 、自転車競技に関心を持	ドンースロースで、当日はダムの見学者もあり平常時より観客は多かった。公道ということもあり一般者にも自転車っていただけた大会であったと考える。	· 操点 4
	事業の 発展性	さくらおろち湖での: 考える。	ニードレースコース(は公道と	いうこともあり、今後全国規模の大会を誘致できるように、スタップ体制を充実させたいので良い経験を輸んだと	採点
	実施計 画 ・体制	計画通り島根県自転た。 た。	車義水連盟にて主管した	。 スタッフは121人で、役員の不足分については、各県に有資格の審判役員を派遣して補ない計画通り実施し	採点
	① 自己 評価 I	達成値。 (1)1回 (2)108人 (3)121人	達成状況 10100% 20108% 30110%	「具体的内容」 (1)2012年6月10日に大会を開催した。 (2)参加人数は108人で達成。	採点
幸 成	事業の 実施 結果	WILLIAM	3/110-%	(3)スタッフ人数は121人で達成	4
	② 自己 評価 II 事業の 成果・				採点
	波及				
58		_達成値 (1)2回 (2)1回)達成状況] (D300% (2)100%	[具体的内容] (1)地方新聞に各大会の取材依頼を行なった。取材はロート競技の1回 リザルトの掲載を実施していただいた。 (2)地方テンビ局に各大会の取材依頼を行なった。取材はロード競技の1回で地元ケーブルテレビによる取材	探点
	競輪・オート レース補助 金による 事業であ	(1)500枚 (2)会場内3ヶ所	(1)100% (2)100%	(1)配布する500枚の会場案内チラシに、補助金による事業であることを紹介した。 (2)各大会会場内3ヶ所に、補助金による事業であることとロゴマークを掲載した	採点 4
自己評	ること 評価 I 評価の体制 補助の場合 果の利活用 、を記入	大会終了後の7月7日 評価結果は団体のカ	に島貝県自転車競技連 ニームへージより結果を公ま	盟役員会にて事業評価会を開催し、事務局からの今後課題について議論できた。 投した	採点

JKA補助事業 平成24年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 Iに併せて実施してください。)

● 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻 害」

欄に「*」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b)欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。

● 促進または阻害専民が無い場合には (16) の欄に「**を記し その理由をご記入ください

				事業の促進・阻害要因の自己が	子 称
	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか
			(1) 経費	(2) 県内の役員のみでは有資格者が不足しているので、各県に依頼しなければならないが、地域のコミニケーションを図ることが出来たことは有益である。ロードレースコースは公道を使用しているため、役員教の	(2) 県内の有資格者を増やせるよう協力者を求め いく。
		*	(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)	確保が必要であり、苦労している。 (5)他県の運営ノウハウを指導していただき有益であった。	
内			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
部要因			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
	*		(5) 事業運営のノワ ハウ (進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
	the court of the contract		(7) その他		
			(8) 受益者の 規模・ニーズ	(9) 地元自治体の協力が薄く、更に交流を深めて盛 り上げたい。	(9) 地元NPO法人とも連携を強化する。大きな大では、地元自治体の協力が必要。
		*	(9) 実施体制以外 の団体等の協 カ・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
外部要			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
因			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
-			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		